

地域経済の脱炭素を目指して、滋賀県とコラボレーション!

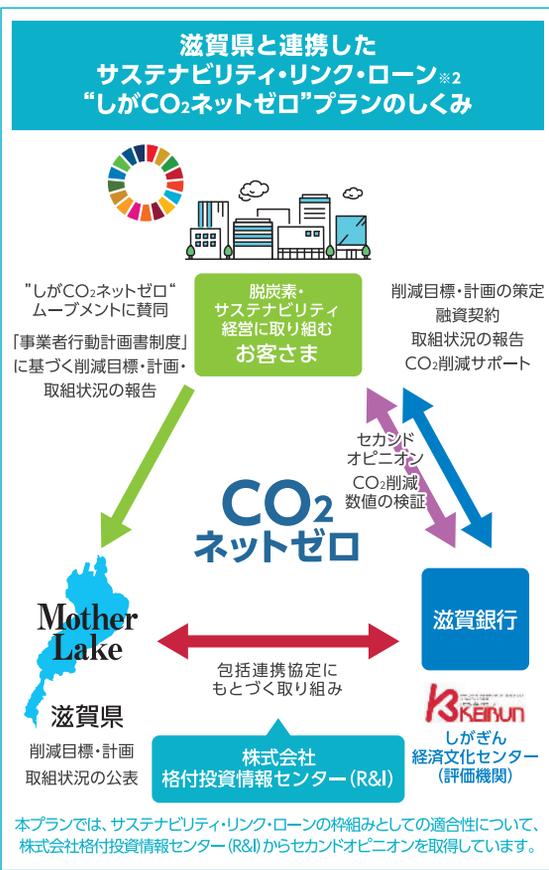
「しがぎん」サステナビリティ・リンク・ローン「しがCO₂ ネットゼロ」プラン



三日月知事(右)と高橋頭取(左)による共同記者会見の様子

滋賀県では、SDGs未来都市として持続可能な地域社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを旨とする「しがCO₂ ネットゼロ」ムーブメント^(※1)が展開されています。3月22日、当行はムーブメントへの賛同を表明しました。その取り組みの一環として、滋賀県と連携し、3月31日より「しがぎん」サステナビリティ・リンク・ローン「しがCO₂ ネットゼロ」プラン」の取り扱いを開始しました。滋賀県との包括連携協定のもと、滋賀県内に事業所を有するお客さまによる“脱炭素”の取り組みをサポートし、お客さまの企業価値向上と地域経済の“脱炭素”を目指します。

本プランでは、お客さまにCO₂削減に関連する事業挑戦目標を設定していただき、その達成状況と融資条件が連動します。事業挑戦目標とその進捗状況は、滋賀県と当行に報告していただきます。



本プランでは、サステナビリティ・リンク・ローンの枠組みとしての適合性について、株式会社格付投資情報センター(R&I)からセカンドオピニオンを取得しています。

※1:しが“CO₂ ネットゼロ”ムーブメント…琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境を守り、豪雨災害等に強い持続可能な社会を次世代に引き継ぐため、県民、事業者、行政が一丸となり、2050年に滋賀県内のCO₂排出量を実質ゼロにすることを旨とするもの。滋賀県では、2020年1月6日に「しがCO₂ ネットゼロ」ムーブメント」キックオフ宣言を実施し、賛同者を広く募っています。賛同いただける方は右記2次元バーコードをスキャンしてご確認ください。

※2:「しがぎん」サステナビリティ・リンク・ローン…お客さまがSDGsやESGに関連する事業挑戦目標を設定し、その達成度に貸付条件が連動する仕組みの融資商品。貸付条件と連動させることで目標達成への動機付けを促し、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

